

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●NHKマイルCはアドマイヤマーズが優勝

5月5日(祝・日)に行われたNHKマイルC(G I)ではアドマイヤマーズ(牡3歳/栗東・友道康夫厩舎)が勝利、朝日杯フューチャリティSに続く2つ目のG Iタイトルを獲得しました。

### ●深山雅史調教師がJRA初勝利をあげる

5月4日(祝・土)の2回東京5日・第7レースではベイシャネガノが1着となり、同馬を管理する深山雅史調教師(美浦)は、JRA初勝利をあげました。今年3月10日(日)の初出走から数えて延べ31頭目での初勝利となります。

### ●キングカメハメハ産駒がJRA通算1800勝を達成

5月4日(祝・土)の3回京都5日・第11レースとして行われた京都新聞杯(G II)ではレッドジュニアが1着となり、キングカメハメハ産駒のJRA通算勝利数が1800勝となりました。これは、サンデーサイレンス、ディーブインパクトに続いてJRA史上3頭目の記録となります。

### ●ノンコノユメなどの競走馬登録抹消

2018年フェブラリーS(G I)などの勝ち馬ノンコノユメ(騾7歳/美浦・加藤征弘厩舎/JRA通算19戦7勝・地方7戦1勝・海外1戦0勝)、2017年札幌2歳S(G III)の勝ち馬ロックディスタウン(牝4歳/美浦・藤沢和雄厩舎/JRA通算6戦2勝)、2018年クイーン賞(船橋・Jpn III)の勝ち馬アイアンテラー(牝5歳/栗東・飯田雄三厩舎/JRA通算15戦5勝・地方3戦1勝)は、5月8日(水)までに競走馬登録を抹消されました。ノンコノユメは地方・大井競馬に移籍し、ロックディスタウンは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となる予定。アイアンテラーは放牧中の事故により死亡しています。

### ●ゴーカイが死亡

4月26日(金)、ゴーカイ(騾26歳)が老衰のため死亡しました。同馬は2000年・2001年中山グランドジャンプ(J・G I)を連覇、その兩年にはJRA賞最優秀障害馬に選出されるなどJRA通算52戦9勝の成績を残して引退。種牡馬として阪神スプリングジャンプ(J・G II)勝ち馬オープンガーデンなどを出し、種牡馬からも引退後は北海道えりも町の寺井文秀牧場に繋養され余生を送っていました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●かしわ記念(船橋)でゴールドドリームが連覇達成

かしわ記念(Jpn I、5月6日、船橋、1600m)は、5番手から差を詰めた単勝1.9倍で2番人気のゴールドドリーム(クリストフルメル騎手、牡6歳、父ゴールドアリュール)が、先に抜け出した単勝1.6倍で1番人気のインティを残り50mで捉え、このレース連覇を達成しました。アポロケンタッキーが3着に入り、オールブラッシュは4着、逃げたドリームキラリは6着、3番人気のモーニは7着に終わっています。

### ●エムエスクイーン(愛知)が無傷の10連勝【各地の主要3歳重賞】

駿蹄賞(5月2日、名古屋、1800m)は、先手を取った単勝1.9倍で断然人気のエムエスクイーン(牝、父バトルブラン)が2馬身差で逃げ切り、デビュー以来の連勝を10に伸ばしました。留守杯日高賞(4月29日、水沢、1600m、牝馬)は、逃げた1番人気の川崎からの遠征馬グロリアスライブ(父ゴールドヘイロー)が後続を9馬身引き離して圧勝。黒潮皐月賞(4月29日、高知、1400m)は、最後方から追いつけた2番人気のアルネゴー(牡、父ローレルゲレイロ)が直線半ばで差し切り、黒潮ジュニアチャンピオンシップ、金の鞍賞に次ぐ3度目の重賞制覇。単勝1.2倍という圧倒的支持を集めた土佐春花賞馬ナンヨーオボロヅキは、逃げたものの3着に後退しています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1ケンタッキーダービー～カントリーハウスが繰り上がり優勝

アメリカ・ケンタッキー州のチャーチルダウンズ競馬場で5月4日に開催されたG1ケンタッキーダービー(3歳、ダート2000m)はマキシマムセキュリティが1位で入線しましたが、走行妨害が認められて17着に降着。2位で入線したカントリーハウス(牡3歳、父ルッキンアットラッキー)が繰り上がりで優勝しました。ケンタッキーダービーで1位入線馬が走行妨害で降着になるのは史上初めてのことです。なお、日本産馬として初めて参戦したマスターフェンサーはJ.ルパル騎手を背に最後方待機から直線で内から鋭く追い込んで6着(7位入線)に健闘しました。

### ●G1英2000ギニー～マグナグレシアが制す

5月4日にイギリスのニューマーケット競馬場で行なわれたG1英2000ギニー(3歳牡牝、芝1600m)は全19頭の出走馬中、3頭で形成された外ラチ沿いの集団の2番手でレースを進めたマグナグレシア(牡3歳、父インヴィンシブルスピリット)が同じ集団の最後方を追走していたキングオブチェンジに2馬身半差をつけて優勝しました。管理するA.オブライエン調教師は一昨年のチャーチル、昨年のサクソウウォリアーに続く3連覇でこのレース10勝目。その息子で手綱を取ったD.オブライエン騎手も2連覇となりました。